

すべての女性が輝く明日のために

JAUW会報

第260号
2017年3月



一般社団法人
大学女性協会



Dr. ルル・ホームズ



特集 国内奨学金贈呈式・2017年度全国総会ご案内

会長挨拶・総会関連行事のご案内……………	2	委員会報告……………	9
全国総会のご案内……………	3	国際奨学委員会 科学研究奨励委員会	
国内奨学金贈呈式……………	4	国際ネットワーク委員会	
研究概要と将来の抱負……………	5~8	支部だより 北から南から 奈良支部/長野支部…	10
		創立70周年記念募金 委員会からの中間報告…	11
		理事会・各委員会からのお知らせ……………	12

全国総会・定時会員総会ご案内

2017年5月13日(土)～14日(日)

新春のご挨拶 一すべての女性が輝く明日のために— JAUW 会長 鷲見八重子



皆様には、どのような新春をお過ごしでしょうか。

昨年は、イギリスのEU離脱やトランプ氏の大統領選勝利、プーチン大統領の来日など思いがけない事態に驚かされました。日本では熊本の震災で、熊本支部の会員が被害を受け、また中村前会長の突然のご入院など、心痛むことの多い年でした。

しかし、皆様のご協力により、11月には大学女性協会創立70周年記念事業をつつがなく執り行うことができました。先輩方が日本各地の支部でいかに高等教育の推進や女性の地位向上に貢献されたか、また国際協力の分野でも日本初の国際会議の開催や、IFUWの会長や委員として活躍してこられたその輝かしい足跡を辿り、深く感銘いたしました。あらためてJAUWの会員であることに誇りを感じた方が多くいらしたことでしょう。

さて、新年度の事業計画です。すでに5月の第6回定時会員総会の準備が着々と進んでいます。少数精鋭の神奈川支部にお世話になります。簡素で楽しい企画・運営を工夫して、多くの会員のご参加をお待ちしております。

10月には埼玉県武蔵嵐山のヌエックにおいて恒例のセミナーが開催されます。テーマは前年に引き続き「女性の自立」です。「すべての女性が輝く明日のために」は当協会の標語ですが、とくに今回は若い世代に「つながる」よう、女性の経済的自立、結婚・子育てとキャリア、「真のリーダーシップとは」などをめぐる研究成果を共有し、政策提言へと展開したいと願っています。支部からの活発なご参加を今からよろしくお願いいたします。

さらに支部との親睦事業があります。今年は札幌支部を6月に訪問することになりました。函館支部会員との交流もかないそうで楽しみです。詳細が決まり次第HPにアップしますので、ご期待ください。

国連は、2015年に採択したSDGs「持続可能な開発目標」

の5分野 (people, planet, prosperity, peace, partnership) の17目標すべてにおいて、2030年までに男女比50-50を達成するよう世界各国に呼びかけています。日本政府も昨年末、実施指針と具体的施策を発表しました。

とりわけ目標5「ジェンダー平等と女性と女児のエンパワーメント」は、私たちのテーマ「女性の自立」と深く関わっています。私たちも政府の施策を見守りつつ、他団体とも連携し、勇気と熱意、そして忍耐と希望をもって活動してまいります。

総会関連行事のご案内 神奈川支部実行委員長 市川知恵子

2017年度全国総会・第6回定時会員総会が横浜で開かれます。会場は横浜バイシェラトンホテル&タワーズです。横浜駅西口から地下街直結の便利なホテルです。

総会前日には、支部長会、懇親会が開催されます。

懇親会のテーマは「人と人 つなげて」です。会員同士の実のある交流を目指して丸山支部長を中心に企画しております。もちろん豪華なフランス料理もご満足いただけることでしょう。

支部長会は近くの貸し会議室で行われます。改めて本部よりご案内となります。よろしくお願いいたします。

総会翌日の5月15日(月)には横浜湾を巡る屋形船をご用意しました。美味しい和食に舌鼓を打ち、みなとみらいの風景を眺めながら優雅にお過ごしください。なかなか経験できない人気の屋形船です。

皆様ご期待のバザーは懇親会と総会で開催されます。

横浜の銘菓やスカーフ、ベトナムの手作り雑貨、沖縄の小物などその他にも素敵なお品をご用意しております。総会成功のためにもバザーへのご理解ご協力を切にお願いいたします。

宿泊についてお願いです。総会会場の横浜バイシェラトンホテル&タワーズの宿泊予約は神奈川支部で取りまとめていたします。お手数ですが、所属支部の支部長を通して総会実行委員長まで申込みをお願いいたします。他の宿泊のご案内はJAUWのホームページの神奈川支部を参考にして各自で予約をお願いいたします。昨今のホテル事情は厳しくなっております。早めにご手配くださいますようお願いいたします。

皆さまのお越しを神奈川支部一同お待ちしております。

2017年度全国総会・第6回定時会員総会のご案内

2017年度全国総会・第6回定時会員総会を、下記の日程で開催いたします。多数ご出席下さいますよう、お願い申し上げます。

1. 総会日程

・5月13日（土）支部長会 & 懇親会

【支部長会】 14：00～17：00 APビル4F 貸会議室
「AP横浜駅西口」

【懇親会】 18：00～20：00 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ（清流）
支部長会終了後、一緒に懇親会会場に移動します。

・5月14日（日）総会

【総会】 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ（浜風）

・定時会員総会 9：30～12：00

・全国総会 第I部13：00～14：00「GWIとJAUWについて」、第II部14：30～16：30
報告・懇談「支部の意見交換会」

・5月15日（月）親睦旅行

12：30～15：30 屋形船「あみ貞丸」にて横浜湾一周と豪華な和風御膳。詳細は別紙チラシ参照。

2. 参加費

懇親会費 ¥9,000、総会費 ¥3,000、総会昼食費 ¥3,000、親睦旅行費 ¥8,000

3. 宿泊

総会会場と同じホテルに宿泊される方は、支部長を介し総会実行委員長へご連絡下さい。それ以外のホテルは、各自でご予約をお願いします。

4. 申込方法

- 1) 「第6回定時会員総会申込書（所属支部への提出用）」に記入して、所属支部・支部長にご提出下さい。控えが必要な方は、各自ご用意下さい。
- 2) 「第6回定時会員総会出席申込書（支部まとめ）」（2月下旬に支部長宛てメール送付）に、支部ごとの参加者をまとめ、総会申込先に3月31日（金）までにお送り下さい。
- 3) 参加費は各自で下記口座に4月10日（月）までに同封の振込用紙でお振込下さい。通信欄に必ず所属支部と参加項目をご記入下さい。

振込先：振替口座番号：00180-7-603136

加入者名：一般社団法人 大学女性協会神奈川支部

* 総会、昼食、懇親会、研修旅行のキャンセルは、4月23日（日）までとします。但し総会費 ¥3,000は返却できませんのでご了承下さい。

5. 連絡先および地図

総会申込みは、神奈川支部までメールでお送り下さい。FAXの場合は、本部をお願いします。

【総会申込先】

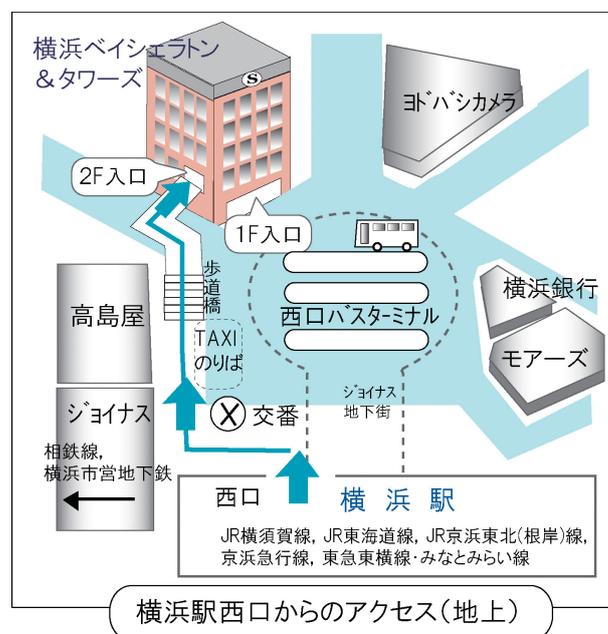
・大学女性協会 神奈川支部

Email：jauwkanagawashibu@yahoo.co.jp

（総会実行委員長・市川知恵子、神奈川支部長・丸山若重）

・大学女性協会 本部 FAX：03-3358-2889

【地 図】 最寄りのJR横浜駅から総会会場まで。



会員の皆様へのお願い

4月22日頃、「第6回定時会員総会開催通知」を「議決権行使書」とともに正会員の皆様に発送いたします。開催通知には予算案及び決算報告、各議案が同封されていますのでご覧ください。定時会員総会は重要な総会ですので、正会員の皆様には万障お繰り合わせの上、ご出席をお願いいたします。欠席の場合は、「議決権行使書」にご記入いただき、署名、捺印の上、5月6日（土）必着でご返送ください。

国内奨学金贈呈式

2017年1月7日（土）京王プラザホテル4F「錦の間」にて

第69回 一般奨学生・第26回 安井医学奨学生選考にあたって

国内奨学委員長 向後紀代美

大学女性協会の国内奨学制度の基礎が築かれたのは、協会が発足して1年後のこと。すなわち今年で70年となります。1952年には旧大学婦人協会の発足に尽力されたホームズ氏からの寄付を基金にホームズ奨学金が、後に社会福祉奨学金、安井医学奨学金（医師安井潤氏の遺族による寄付を基とする）が設けられ、現在国内奨学金制度は3部門からなっています（ホームズは一般と社会福祉部門から特に女性、教育、国際関係分野の研究を行う学生1名を選出）。

今年度は6月17日、合計254大学へ募集要項を発送し、8月31日に応募を締め切りました。また大学女性協会の会報258号（2016年7月）と、ホームページにも募集要項を掲載しました。応募用紙はホームページからダウンロードできるようになっています。全応募者は73名。各支部による1次選考（9月23日時点）をへて一般奨学生応募者31名、安井医学奨学生応募者15名が10月23日の本選考に残りました。選考委員15人は専門が多様な分野にわたり、また、そのうち5人が過去の奨学生です。選考委員の活発な討議による研究内容の独創性、社会への発信力などを検討し、その後、地域や博士と修士、理系と文系、学年などのバランスを考慮して最終決定をしました。今年度は北の地方がありませんが、過去2年は北海道が選出されているので、相対的にはバランスがとれているのではということで、了承されました。その結果、一般奨学生5名、安井医学奨学生1名が、そしてホームズ奨学生1名は一般から選ばれ、11月5日の理事会で承認されました。以下各奨学生について紹介します。

ホームズ奨学生は高木佳奈さん。アルゼンチンの日系移民の立場で長年日本文化を紹介してきた酒井和也をとりあげ、多数の往復書簡を調査に米国の大学へ行く希望をお持ちです。一般奨学生は次の方々選ばれました。少年非行の矯正教育において発達障害の少年の実態とその支援のための方策を現場で探しておられる内藤千尋さん、惑星系の起源を年代測定から研究されている鏡味沙耶さん、認知症などの予防に役立つと思われる紅麹発酵産物を沖縄の伝統的な食べ物から研究している松本亜里奈さん、動物の温度馴化を分子レベルで研究し、進化の謎にもせまる研究の岡畑美咲さん、室内照明を全体と部分照射の組み合わせで効率よいのはどれかとの研究に取り組まれている丸山悠さん、の5名です。

安井医学奨学生は向山順子さん、大腸癌の再発防止のため、今までなされていなかったヒトの患者の細胞からの研究をされています。これらの奨学生が将来、そのもてる能力を思う存分発揮され、世界ではばたく女性リーダーとして活躍されることを期待しています。

第45回 社会福祉奨学生選考にあたって

社会福祉委員長 藤森 洵子

2016年度社会福祉奨学生選考に当たり、6月に候補者推薦依頼を全国の各支部長、大学学長に依頼、また Web でも募集、8月末日に締め切り、大学院生3名、学部生2名と計5名の応募を頂き、10月8日に開催の選考委員会では会長及び担当理事ご出席の下、福祉委員会一同で真摯に選考に当たり、大学院生1名、学部生1名を候補者として選出、その結果は11月の理事会で正式に社会福祉奨学生として承認されました。お二人を紹介致します。

中松真紀さん（早稲田大学大学院 政治学研究科 政治学専攻 ジャーナリズムコース修士2年在学中）はリウマチ患者の社会的活躍に注目し、医療や政策より実際の社会生活に焦点を当て、社会で活躍するリウマチ経験者にインタビューをする研究方法で、将来は「人を伝える」仕事を目指し、広く文化を学ぶため英国留学も目指しています。

桑野楓夏さん（筑紫女学園大学 人間科学部 人間学科2年在学中）は特別支援学校教諭と社会福祉士を目指して勉強中、学問の他にも障害者スポーツ「ボッチャ」に取り組み2020年の東京パラリンピックでは日本代表出場を目指しておられます。お二人がこの受賞を胸に、今後も苦難を乗り越え益々活躍されることを心より願っております。



国内奨学委員会とともに



社会福祉委員会とともに

研究概要と将来の抱負

ホームズ奨学生

ラテンアメリカにおける日系移民の文化史的考察

——酒井和也を例に——

東京外国語大学大学院 総合国際学研究所
博士後期課程3年

高木 佳奈

本研究では、酒井和也（1927-2001）というアルゼンチン生まれの日系二世アーティストを取り上げる。酒井は日本で教育を受けた後、アルゼンチン、メキシコ、米国で日本文学翻訳者及び抽象画家として活躍した人物である。芥川龍之介、太宰治、三島由紀夫、安部公房ら現代作家から、『雨月物語』、『源氏物語』、『徒然草』などの古典文学や謡曲まで幅広くスペイン語に翻訳し、スペイン語圏における日本文学研究の礎を築いた。また様々な日本文化紹介活動を行い、ホルヘ・ルイス・ボルヘスやオクタビオ・パスらラテンアメリカの知識人にも影響を与えた。本研究では、日本・ラテンアメリカの文化交流史の観点から酒井の絵画・翻訳作品を分析し、日系移民の表象と、ラテンアメリカ文化への影響について考察する。

酒井に限らず、日系人の文化活動について日本ではあまり知られていない。しかし、近年の世界的な日本ブームの背景には、日本文化紹介に努めた日系人たちの地道な努力があった。本研究を通じて、日本の文学と美術の普及に多大な貢献をした酒井の業績を明らかにし、日系人の文化活動の再評価につなげたい。また、日本社会の多国籍化が進むなかで、祖国と移住先の二つの文化を受け継いだ日系人の歴史は、異文化理解の可能性を示唆してくれると考えている。将来は日系移民史とラテンアメリカ文化の研究、教育に携わり、広い視野と柔軟な考え方を持つ人材の育成に尽力したい。



鷲見会長から高木さんに奨学金を贈呈

一般奨学生

少年非行・矯正教育における発達障害等の発達困難を有する少年の実態と発達支援に関する実証的研究

東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所
博士課程 発達支援講2年

内藤 千尋



環境要因など多様な負の要因が絡み合った結果として虞犯・非行に至った少年の多くが発達上の困難や課題を有している。彼らの自立・社会復帰に向けては少年本人の声やニーズを丁寧に聞き取り、不安を取り除き、大人への信頼を

回復させていくための継続的な教育・発達支援が不可欠である。それゆえに本研究では、少年非行の「入り口」から地域移行・社会的自立の「出口」における、発達障害等の発達困難を有する非行少年が抱える困難・ニーズや支援の実態を明らかにするとともに、少年非行・矯正教育において求められている発達支援、地域移行支援の課題を検討することを研究の目的としている。

具体的には、①先行研究のレビューを通して、国内外における少年非行と発達障害との関係に関する政策、議論の動向や支援体制の把握と課題の検討、②全国の少年鑑別所・少年院・保護観察所・更生保護施設・自立準備ホーム・地域定着支援センターの職員や保護司の訪問面接法調査、③発達障害等の発達困難を有する非行少年の面接法調査、④当該分野の先進国である北欧諸国（スウェーデン・フィンランド・アイスランド等）の施設への訪問調査により、発達困難を有する非行少年の困難・ニーズの解明と支援システムの構築に関する実証的作業を行っていく。

なお応募者は現在、私立大学助教として勤務しつつ、大学院博士課程に在学し非行等の発達困難・課題を有する子どもの発達支援システムの解明を目指して研鑽中である。

分化型天体における揮発性元素枯渇の年代学から紐解く惑星系の起源

東京工業大学理学院 地球惑星科学系
地球惑星科学コース 博士後期課程1年

鏡味 沙耶

地球のように地殻・マントル・核に分化した天体（分化型天体）はすべて、太陽系の組成と比べ、揮発性元素が枯

渴しており、その枯渇程度は天体ごとに異なる。その原因として、①揮発性元素が取り込まれずに天体が形成、又は②巨大衝突（ジャイアントインパクト）時の散逸が考えられているが、決着はついていない。①と②では生じた時期が



数百万年異なるため、揮発性元素が枯渇した年代が分かれば、その枯渇のメカニズムも明らかになる。分化型天体の情報を探る一つの手がかりとして隕石を用いる方法がある。私は、揮発性元素が枯渇した年代を求めるために、やや揮発性元素の Rb（ルビジウム）と、難揮発性元素の Sr（ストロンチウム）から成る放射壊変系⁸⁷Rb-⁸⁷Sr系に着目した。分化型天体から飛来したと考えられる隕石に含まれる Rb/Sr 比と Sr の同位体比（⁸⁷Sr/⁸⁶Sr）を高精度で測定することによって得られる年代から、その隕石母天体の揮発性元素が枯渇したメカニズムを推定する。

地球惑星科学は、複雑な自然現象を対象とし、様々な分野に関連している。そのため、自身の専門分野のみならず、専門分野外の研究者とも深い関わりを持つ研究者を目指し、自らの研究結果がより広い分野の研究者に影響を与える人材になりたい。また、私は、多くの女性が理系の大学・大学院に躊躇わず進学するようになってほしいという思いを常に持っており、そのような環境にするための活動に積極的に取り組みたいと考えている。

紅麹発酵産物の神経保護作用に関する研究

琉球大学大学院 農学研究科 亜熱帯農学専攻
修士課程2年

松本 亜里奈



近年、認知症患者の増大が大きな社会問題となっている。認知症は、神経変性疾患のひとつであり、加齢による脳内の酸化ストレス防御機能の低下によって起こる神経細胞の脱落が主な病因とされる。よって、外因性の抗酸化物質

による酸化ストレス防御や機能修復による補完が認知症予防に有効とされている。紅麹菌（*Monascus* 属菌）は、発酵食品の製造や漢方の原料に用いられる有用糸状菌であり、沖縄県でも伝統大豆発酵食品の製造に使われている。紅麹菌がつくる二次代謝産物には、これまでに抗酸化を含めた様々な生理活性が報告されている。最近、紅麹菌が産

生するモノコリンと構造が類似したスタチン医薬製剤が認知症予防に効果的であることが報告され、治療目的での研究が進んでいる。私は、紅麹菌がつくる抗酸化物質に着目し、紅麹抽出物ライブラリーの中から神経細胞保護効果の探索を行ってきた。これまでに、ラット由来神経細胞の塩化コバルト誘導性酸化ストレス細胞死モデルに対して神経細胞保護効果を示す紅麹菌株を選抜している。さらに研究を深化させて生理活性物質を単離・同定し、神経細胞保護効果の作用機序を解明することで認知症の予防に貢献したいと考えている。かつて健康長寿県であった地元沖縄の伝統発酵食品に利用されている微生物から認知症予防に役立つ成分を見出せたことは、このうえない喜びである。最終的には、本研究成果によって認知症患者を減らし、より良い社会を目指していきたい。

動物の温度馴化の多様性と分子神経メカニズム

甲南大学大学院 自然科学研究科
修士課程2年

岡畑 美咲



動物は常に温度を感じし適切に応答する必要がある。本研究では、シンプルな実験動物である線虫 *C. elegans* をつかい温度応答の分子生理機構の解明を目指している。温度馴化に関わる新規遺伝子を同定するため、飼育温度変化で

発現変動する遺伝子の表現型解析を行った。その結果、K⁺チャンネルが温度馴化に関わっていることが示唆された。これは温度馴化が細胞内のイオン状態の変化によって制御されていることを示唆する新たな知見である。また、進化による生物の多様性の観点から、温度適応能力と遺伝子を結びつけ、生物が細胞レベルで行う温度適応分子メカニズムの解明を目指し、世界各地で単離された多型株を用いて解析を行った。次世代DNAシーケンサーとSNP解析により、多型株間の温度馴化能力の差を生み出すこの原因遺伝子多型のひとつをI番染色体領域にマッピングした（Okahata et al., J. Comparative Physiology B, 2016）。

修士課程修了後は博士課程に進学し、現在の研究をさらに進めていきたいと考えている。既に温度馴化新規遺伝子として同定したK⁺チャンネルはヒトのてんかんや心臓病などの原因遺伝子として知られており、本研究はヒトの病気の解明につながる可能性がある。将来は女性研究者として世界で活躍し、科学研究の発展に貢献していきたい。

タスク&アンビエント照明方式

器具の配光と順応を考慮した調光方法についての検討

奈良女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程
社会生活環境学 2年

丸山 悠



タスク&アンビエント照明 (TAL) とはタスク照明 (スタンド照明等) で作業面照度を確保し、アンビエント照明 (天井照明等) を抑える照明方式である。快適性と省電力の両立が期待される一方で、明るさの変化と空間内での眼の順応の乱れによる快適性低下が懸念されることや、調光作業の煩わしさから普及は進んでいない。

TAL実用化のためには、器具によって異なる明るさの広がり (配光) が与える影響と、作業者の順応状態を考慮した調光制御の方法について検討する必要がある。

配光に関する検討では大学生を被験者 (各実験30名) として被験者自身に照明環境を選択させることで、各照度の適正なバランスを抽出している。また、調光の検討は同じく大学生の被験者に対して、アンビエント照明を一定値とし、タスク照明を調光した条件を提示し、調光速度と印象評価との関係を分析している。このような TAL での調光実験は前例が少ないが、実空間へ適用する上では煩わしい調光作業を行うことなく快適な TAL 空間を提供できる自動制御システムが不可欠である。

引き続き、タスク照明とアンビエント照明を各々調光、または連動させた実験を行い、あらゆる実験変数を網羅した総合的な設計資料の提示を目指している。同時に、建築・照明分野において自らの研究に活かせる研究結果や分析方法を学びつつ、研究者として省電力で快適な照明計画を追及し社会に還元していく。

安井医学奨学生

ヒト大腸癌正所性移植モデルを用いた転移制御機構の解明

神戸大学医学部大学院 医学研究科
博士後期課程4年

向山 順子



消化器外科医としての経験が、医学研究の道に進んだ動機です。私が専門としている大腸癌は、早期であれば安定した予後が見込める時代となりましたが、進行癌では治療効果が限られているのが現状です。進行大腸癌の死因の大半

は遠隔転移によるものであり、転移の制御が大腸癌の予後改善のための重要課題となっています。

私は大腸癌の転移に関わる分子機構を解明するために、ヒト大腸癌正所性移植モデルを用いて、大腸癌の転移に関わるエピジェネティック制御機構の研究を行っています。具体的には、手術で摘出した大腸癌組織をマウスの腸管に正所性に移植することで、大腸癌の肝転移をよりヒト生体内に近い状態で再現するマウスモデル (自然肝転移モデル) を樹立します。そして、形成された肝転移巣より転移大腸癌細胞を分離し、エピジェネティック制御因子の一つであるマイクロ RNA と、その標的遺伝子の解析を行っています。

大学院卒業後の来年4月からは、大腸癌の先進研究機関である米国 Columbia 大学に博士研究員として留学し、研究を続ける予定です。大腸癌の制圧のために、医師として研究者として、できる限りのことを行っていきたいと思っています。



社会福祉奨学生

できるけど、できない——リウマチ患者の見えない壁

早稲田大学大学院 政治学研究科
修士課程2年

中松 真紀

私自身が4歳の時に罹った「リウマチ」について、ルポルタージュの形で修士論文を書く。



「リウマチ」というと、街中や温泉など目にする社会福祉奨学生 中松さん お母様も多く、馴染みのある病名だろう。反面で、メディアでその病気や患者が取り上げられるなど、改めてその実態を知る機会は少ない。自身の経験から、病名の認知度と実際の病気が患者の社会での扱われ方や理解にギャップを感じた。

確かに命に直結するわけでも、一生寝たきりや車いすになるリスクが高いわけでもない。痛みを我慢すれば、歩行や食事、最低限の生活を自力で送れる。しかし、関節の痛みや変形から、活動の場を広げたり、能力を発展させたり、趣味を思い切り楽しんだりすることが難しい。リウマチ患者は「したいことをするなら悪化は仕方ない」「悪化したくないなら何もしない」という二者択一ののだろうか。

私の修士論文では、リウマチ患者が文化的暮らし、活躍をするため求められることを明らかにする。実際にリウマチを経験し、社会で活躍する人物（理容師、会社員、女優、アスリート）に取材を行い、職業や年齢、性別、発病時期の違う、その立場からだからこそ見えるリウマチを描く。

私は将来、「ひとを伝える」仕事をしたい。「一人ひとり」を伝える仕事に就く上で、どの人とも真摯に対話ができる

ようになりたい。今の大学院を修了後は、絵や音楽などの芸術、スポーツ、宗教や歴史などを含めた“文化”を広く学ぶため、イギリスの大学院へ留学したい。

「特別支援学校教諭と社会福祉士を目指して」

筑紫女学園大学 人間科学部 人間科学科
人間関係専攻 社会福祉コース 2年

桑野 楓夏

私は現在大学に在籍しており、資格を取得することで特別支援学校教諭や社会福祉士等、将来の自分の可能性を広げるために役立たいとの思いで大学生活を



送っている。また、障害当事者としてより深く福祉について学び、高齢化社会への対応、福祉環境の充実、地域格差及び障害者の社会進出等の力になれるような人間になりたいと思っている。高校時代に「ボッチャ」という競技で、マレーシアで開催された世界大会に出場した際、多くの海外選手との交流を深めていく中で海外と日本の福祉制度等の違いについて興味を持つようになった。大学では福祉先進国であるデンマークを訪問する研修があることから、自分の目で実際に海外の福祉を学ぶ機会を活かすよう、現在は語学の勉強にも力を入れている。将来の抱負としては、私のような重度の障害者を受け入れている大学自体が少ないため、多くの重度障害者が大学進学を諦めていると思う。このような現状を少しでも改善するためにも私自身が先駆者となり、大学等を含む社会へ障害者を受け入れる体制を整えるように訴えていけるような人材になりたいと考えている。

2017年 新春のつどいに参加して

収益事業委員会・親睦事業委員会 建部 静代

「おめでとうございます」「今年もよろしく」と華やいだ声が響く1月7日の京王プラザホテル「錦の間」。全国から参加された会員の方々の笑顔がはじけていました。どこからか「初競り」のような声が聞こえます。会場入り口近くにある収益事業部主催のバザーコーナーからでした。天草のワカメからチョコレート等のお菓子、手作り品に洋服まで、「お



年玉」をいただいたようで、とても賑わっていました。

11時になると開会の言葉につづいて、鷺見会長の挨拶

でスタートしました。第一部は2016年度国内奨学金贈呈式です。出席者8名の奨学生スピーチはそれぞれの研究分野において、力強い私達の未来への提言でもありました。奨学生の皆さんの真摯な研究に対する姿勢に会場から深い感嘆の声と拍手がやみません。また、JAUWの70年にわたる事業主旨を改めて認識し、誇りに思う瞬間でもありました。



第二部では日本舞踊西川流の西川扇矢氏による「六花三番叟」と「七福神」で、新年の慶びと末永い太平の世を願う踊りが披露されました。

タイミングよく、中華料理が供され、シャンペンで乾杯。円卓を囲みながら楽しい時間が過ぎていきました。全国の支部長からの近況報告もあり、和やかな雰囲気の中での2017年新春のつどいでした。

JAUW は国際奨学金制度（1970年～）や守田科学研究奨励賞（1988年～）等の奨学事業を展開し、国際会議への参加支援企画によって女性の各方面への進出を支援しています。

2016年度の国際奨学生報告会

国際奨学委員会では、2016年度国際奨学生（ヒマニ・ノートイヤルさん；京都大学霊長類研究所、ツルディエヴァ・フーカさん；筑波大学人文社会科学研究科）の研究成果報告会を2月25日に開催しました。当日は、フーカさんのご夫や同郷の友人などが出席して、国際色豊かな会合となり、参加者のみなさまにも国際交流をお楽しみいただけました。

ヒマニさんは、カラフルなヒマラヤ山地の写真を交えてヤセザル研究の成果を報告しました。日本に来て一番感銘を受けたのは、「women safety」だそうです。深夜に及ぶ研究の後、数キロメートル離れた宿舎へ安心して一人で帰れるのは何よりとのことでした。京都大学大学院で学位取得後は、日本とインドの若手女性研究者たちの架け橋となることを希望しています。

フーカさんは、politeness の語用論的研究で、日本人とウズベク人との会話表現の類似性をいくつか発見したことを報告しました。例えば、招待を断る時にはっきり断わる西洋人と違い、どちらも相手を傷つけないよう婉曲な言い方をし、その表現法もよく似ているということです。帰国後は、この研究成果を一つの柱として「アジア諸国における異文化コミュニケーション」について学位論文を作成する予定とのことでした。（国際奨学委員長 岩村 道子）



第15回 自然科学講演会報告

エマージングウイルス感染症：現状と科学の最先端

東京大学医科学研究所 教授

甲斐 知恵子

2016年12月17日(土) お茶の水女子大学にて

【主催】科学研究奨励委員会

【共催】東京支部 お茶の水女子大学



エボラ出血熱、ジカ熱、AIDSなどの恐ろしい感染症の原因は、突如として現れた新興・再興（エマージング）ウイルスでした。今回は、身近でもあるウイルス感染症について、ウイルスとは？という解説から、いくつかの感染症の発見と現在の状況に至る歴史、さらに最先端の研究の内容まで、とてもわかりやすく熱意あふれるご講演を拝聴することができました。ウイルスは究極の「寄生体」であり、すぐに宿主の細胞の中に入り込むので直接効く薬は稀で、予防は治療に勝るとのこと。しかし、有効なワクチンが開発された感染症で、ヒトだけが罹患するものは根絶できることを伺い、ホッとしました。一方で、野生動物が自然宿主の場合の人畜共通感染症では、野生動物と家畜との接触を断つことが重要とのこと。エマージングウイルスに対するワクチン開発は進められていますが、日本では研究設備の整備や研究費の確保が大きな課題とお聞きしました。

（科学研究奨励委員 浜崎 浩子）

第19回大学女性協会 守田科学研究奨励賞贈呈式ご案内

第19回賞贈呈式および祝賀パーティーを下記の要領で開催いたしますので、多数ご出席いただきたくご案内申し上げます。

日時 2017年6月4日（日）
贈呈式・授賞者講演 13時00分～14時30分
祝賀パーティー 14時40分～16時00分
場所 アルカディア市ヶ谷（私学会館）
東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921
JR、東京メトロ、都営地下鉄「市ヶ谷駅」より徒歩3分
会費 2500円
申込先 （一社）大学女性協会事務局
TEL 03-3358-2882 FAX 03-3358-2889

CSW（国連女性の地位委員会）第61回フォーラム参加に向けた勉強会を、12月4日に大学女性協会主催・国際ネットワーク委員会共催で行いました。

なお今回は、2016年度の国際会議参加若者支援制度に応募され、選考の上支援生に決定した田中悠里子さんに講師の一人として、初登場していただきました。お陰をもちまして、JAWWなど外部から3名の参加を得て合わせて14名が出席し、2つの講演と終了時刻を越える活発な質疑応答で、今、世界と国連、そしてCSWが目指すSDGsの方向の中で、私たち女性のNGOとその会員個人が果たす役割、取るべき行動について考える絶好の機会となりました。

毎年3月、ニューヨークの国連本部で開催されるNGO CSWフォーラムも今春61回目を迎える歴史を持ち、昨年まで連続4回参加された城倉純子会員より最初に、ご経験に基づき近年の動向について、特にアフリカとイスラム女性の急速な覚醒と、CSWと市民社会の関係の2つの観点からご紹介いただきました。そこで、持続可能な発展を図る国連と加盟各国政府の基本方針は、全ての女性と子どもの人権を保障すること無しには実現し得ないことが確信できました。そのことは、二人目の講師、田中悠里子さんが2年間のデンマーク在住から学ばれた「個人の幸せよりも『みんなが心地よい状態』、皆で幸せになることを目指す」生き方、価値観で、具体性を持ち得ると考えられました。そのようなことに一人ひとりが意識を高めるために果たすNGOの役割は、計り知れないと感じました。

（国際ネットワーク委員長 鈴木千鶴子）



支部だより

北から～南から

テーマある活動で地域貢献も 奈良支部長 久留島涼子

Q 最近の支部の活動は？

A 現在の奈良支部会員数は25名で、嘗て最大100余名であったので1/4になり、しかもその4割は40年以上の継続会員であり高齢化が進んでいる。現状では奈良支部独自の活動はしにくい状況であり、毎年定例行事は滞りなく行うことを主目的にしている。昨年の神戸全国定時会員総会には7名出席。今年の1月21日には、支部役員会を開催し、引き続き、一般奨学生に丸山悠氏が採用されたことを受け、その研究発表会を開催して花束を贈呈した。そのほか本部主催の70周年記念行事に6名参加した。その帰途に親睦会として箱根に1泊して紅葉を楽しみ箱根美術館を訪問した。奈良支部独自の活動としては「古典芸能を楽しむ」というテーマのもと JAUW 関西事業委員会による日本橋の文楽劇場での文楽鑑賞会（夏は「名作劇場」、お正月は「新春公演」）に7名参加。また、「英字新聞を読む会」は会員以外の方も参加され、継続している。

Q ご当地自慢・支部自慢は？

A 奈良は、有数の歴史的由緒のある土地柄であり、折に触れ歴史の一端を身近に体得できる絶好の環境にある。昨年は薬師寺東塔の再建現場の見学会を行い文化財保全の実態を学んだ。奈良支部の拠点は、世界遺産の奈良公園の近くに位置する佐保会館（奈良女子大学同窓会会館）にあり、国指定天然記念物の鹿が構内を歩きまわっているのは、微笑ましく心癒される風景である。

Q これから力をいれたいことは？

A 新入会員獲得のために奨学生への推薦と同時に JAUW の紹介と入会勧誘を行う。本部の行事への参加に加えて「奈良県男女共同参画県民会議」への会員の派遣を通して種々の社会問題へ視野を広げ、人権講座や女性の活躍フォーラムへ参加する。講演会として奈良支部会員の研究紹介など最新の情報を地域に提供する企画を考えている。今後は支部存続も不透明ではあるが親睦会、研修旅行等を通じて楽しい会にしたい。



2013年 熱海研修旅行にて

会員相互から学び、さらなる進展を 長野支部長 徳田 節子

Q 最近の支部の活動は？

A 長野支部は会員も少なく且つ高齢化が進んでおります。年間を通して支部総会・例会・新年会・役員会等合わせて7回開催しました。例会ではまず親交を温めることが第一ですが、健康に気をつけ、自立を心がけ元気に過ごしましょうと話合ったことでした。かねてからお加減が悪かった40年来在籍の落合澄子会員が本年1月8日他界され、在籍会員は8名になりました。出席出来る会員は葬儀に参加致しました。葬儀当日、故人を偲ぶ茶話会を持ち、1月7日本部での新春の会の報告を簡単に行いました。

厚労省の統計※によりますと（2010年）、長野県は男女共平均寿命が全国一位であり、その理由の一つが県民の平均野菜摂取量が大きく影響しているという専門家の分析があるそうです。※出典：帝国書院「食の地図（3版）」P80

Q ご当地自慢・支部自慢、そして今後については？

A 県の特産食物としては戸隠そば、信州みそ、わさび、すんき漬け（食塩無使用）、野沢菜漬け、おやき、笹ずし、信州サーモン、佐久鯉等があげられます。当県は南北に広く、北は白馬から南は伊那盆地まで続いており、日本の屋根といわれるほど、上高地をはじめ北アルプス連峰、中央アルプス（木曾山脈）等の山々が連なっており、自然豊かです。また、善光寺をはじめ、松本城、上田城、小諸城等があります。

少人数、高齢化の当支部ですが、人生経験も豊かで会員の中には、ヨガの指導者、長年の民生委員、調停委員、食文化研究者等、専門分野も多岐に渡っており相互に刺激を貰っています。年齢に関係なく、更なる進展を心がけて先進他県に教わりながら進みたいと考えております。



2015年 支部例会、長野駅前油屋にて

第3回会員拡大ワークショップ 仙台

会員拡大委員長 縄田真紀子



1月29日(日)、仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台に於いて

第3回会員拡大ワークショップを開催しました。仙台支部、会長、副会長、会員拡大委員会総勢16名の参加でした。大きな楕円形のテーブルを囲んで、先ずDVD「JAUWのあゆみ」を鑑賞、JAUW創立70周年の歴史を振り返りました。支部長、委員長、会長の挨拶・趣旨説明などに続いて、山下コーディネーターのもとワークを行いました。ワークは5つ、1のワークでは、JAUW自身の強みと弱み、そして外部要因としてJAUWにとって何がチャンスであり何が脅威であるかを明確にする。2では、世代別に興味・ニーズなどを考慮した会員の勧誘の仕方などを出し合う。3では、広報についてアイデアを出し合う。4では、「JAUWを中心にどんな利害関係者が存在するのか」について説明があり、最後に5のワークで、具体的に仙台支部の会員増活動計画案が作成されました。限られた時間でしたが、活発な意見交換が行われ、参加者から「本部の動きが直接感じられてよかった」、「会員拡大ワークショップという言葉にとまどいがあったが、ワークショップに参加してよく理解することができた」などの感想をいただきました。みんなで会員の輪を広げてまいりましょう！

クリスマスの代官山 散策とランチ

収益事業委員会 藤谷 文子

収益事業委員会となって初のクリスマス街歩きは、若者に人気のスポットのひとつ代官山、



「デンマーク大使館訪問と重要文化財旧朝倉家住宅探訪、蔦屋書店界隈歩き」とランチはフレンチレストラン「パッション」でという贅沢な内容のせいか30名という多数の参加者を得て和気あいあいと楽しむことができました。大使館には少し早めに到着したものの時間ピッタリにドアが開きクリスマスデコレーションの施されたサロンで大使自ら各自に名刺を下さったうえウエルカムドリンク、コーヒー(紅茶)クッキーまで頂き希望者全員との写真撮影など、素晴らしいひと時でした。大使が2017年は日本デンマーク友好150周年に当たるのだと各自にポスターをくださったのはうれしいプレゼントでした。その後のランチは文字どおり素敵な雰囲気の中でのおいしいフレンチ、忙しい12月のつかの間の休息でした。

募金委員会から中間報告 (その1)

委員長 牧島悠美子

創立70周年記念募金事業にご協力いただき誠にありがとうございます。2016年11月12日、目標額1000万円をもってスタートした募金に2017年1月31日現在199人、総額227万6千円のご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げますとともに、今後ともよろしくご支援をお願い申し上げます。

なお、今回の募金に併せて大口指定寄付のご相談がありました。同様のご提案・ご相談いつでも承ります。誠心誠意対応させていただきますので何なりとお申し越しください。

(一社) 大学女性協会 創立70周年記念募金寄付者ご芳名

敬称略・支部別 五十音順

2017.1.31現在

(仙台支部) 愛知絢子、青木洋子、小関和子、佐浦智恵子、高原洋子、菅原充子、中村陽子、中屋紀子、松山寿美子、松山裕美子、茂泉敦子、谷地森涼子、梁川優子、若菜令子(新潟支部) 阿部美知子、佐藤恵美子、鈴木裕美、関 妙子、高橋令子、田中和子、山田和子 (茨城支部) 安藤隆子、今高博子、長田満江、加藤光子、酒井はるみ、滝 睦美、中庭陽子、牧島悠美子、牧野恵美子、松本由美子、安久子 (栃木支部) 森山真弓 (群馬支部) 植原映子、岡崎朋美 (長野支部) 徳田節子、広田直子、三田コト (東京支部) 青木怜子、秋月 薫、秋光正子、阿部幸子、磯村明子、糸原園子、江尻美穂子、海老根静江、大島杏子、太田恵子、柏木京子、加藤恵津子、加藤恭子、冠木敦子、菊池摩耶子、窪田憲子、桑折美子、向後紀代美、坂井英子、坂上栄美子、佐々木澄子、嶋田美恵子、島美喜子、庄司ヨシ、白井典子、鈴木佳子、鈴木美代子、高橋真理子、竹中はる子、玉井美枝子、辻 英子、中村久瑠美、中村道子、中山正子、中山律子、縄田真紀子、西田節子、西立野園子、野瀬久美子、野田恭子、端本和子、東山セツ子、平井和子、廣田貞子、廣田里子、福田文子、藤原亜紀子、古川セツ、村木晴子、室伏きみ子、望月浪江、森川淳子、矢島多恵子、山下泰子、鷺崎千春 (神奈川支部) 石塚浩美、鷺見八重子、田辺光子、中村礼子、西村寿美子、房野 桂、松比良節子、丸山若重 (静岡支部) 尾上契子、佐藤末子、庄司由美子、鈴木キミエ、鍋倉伸子、林 幸子、御宿節子、森内清江、山下いづみ (愛知支部) 稲葉みどり、岩城和子、加藤万喜子、鈴木麗子、伴 紀子 (金沢支部) 勝木満子、柴野南津、杉本和恵、升村登美子 (京都支部) 大久保美加子、亀田和代、久代佐智子、久保宜子、阪田敦子、佐賀千恵美、佐藤芳江、杉山レイ、高橋侑子、多田美智子、中川慶子、中川洋子、中村泰子、廣田輝子、松尾景子、松田栄子 (奈良支部) 池原順子、久留島涼子、児島捷子、田川美恵子、橋本慶子、堀井擴子、森田由躬江 (大阪支部) 青木綾子、北村美佐子、小浦方新子 (神戸支部) 久保田玲子、寺本郁子、中村八千代、西田佳世子、藤田厚子、松村和子、三木谷節子、山本道子、和田則子 (岡山支部) 岩城登美子、江田京子、岡崎優子、岡野弘子、近藤みち子、高田武子、西崎宏美、真邊和美 (広島支部) 柿本因子、中村慶子、舟橋喜恵、山手万知子、吉村幸子 (大分支部) 井野邊陽子、内田芳子、江崎一子、鹿子嶋めぐみ、藤内和子、濱田彩美、原尻みどり、御手洗敦子、和田英子 (熊本支部) 武宮公子、馬場郁子 (福岡支部) 井上洋子、桑原洋子、相良かおる、武谷恵美子、榊谷紀子、松浦愛子 (長崎支部) 梅田和子、加納孝代、鈴木千鶴子、千住恵実子、辻 佳子、永吉美恵子 (賛助会員) 磯部正昭、岩永正人、エトヴァス、小笠原今子、脇若保雄 (匿名希望) 4名

役員選考委員会より全正会員の皆さまへ

2017年度役員（理事）候補者推薦依頼

本委員会は、2016年度理事会での鷺見理事の会長就任に伴う調査研究および奨学事業担当理事の欠員、現支部担当理事の次年度退任の報告を理事会から受け、新年度に2名の理事の追加を提案いたします。正会員におかれましては、候補者の推薦を3月18日（土）までに（消印有効）封書にて事務所宛にお願い申し上げます。

（役員選考委員長 岩村 道子）

お知らせ 収益事業委員会

*催し物

- ・4月26日（水）第10回街歩き「歴史と文化の街 落合」
アダチ版画見学（初心者向き）他
ランチ「日立クラブ」
- ・5月31日（水）「国立近代美術館工芸館」見学
ランチ「ラ・エ・ミクニ」

*観劇

- ・文楽 豊竹英太夫改め「六代 豊竹呂太夫襲名披露公演」
日時：5月28日（日） 昼の部 11：00 開演
会場 国立小劇場
演目 ●寿柱立万歳（ことぶき はしらだて まんざい）
●菅原伝授手習鑑
○茶筌酒の段 ○喧嘩の段
○訴訟の段 ○桜丸切腹の段
●豊竹英太夫 改め 六代 豊竹呂太夫襲名披露口上
○寺入りの段
●襲名披露狂言
○寺子屋の段
- ・チケット代 7,000円 ・定員 15名
- ・申込み締切 3月25日（定員に達し次第打ち切り）
- ・お申し込み JAUW 事務所 FAX 03-3358-2889

初夏の札幌近辺親睦旅行（札幌支部を訪ねて） 親睦事業委員会

2017年度の支部交流・親睦旅行を下記のように企画いたしました。一年で一番気候のよいこの時期に、初夏の北海道・札幌近辺を楽しみたいと思います。ご参加をお待ちしております。

- 日時：2017年6月26日（月）～28日（水）（新千歳空港集合・解散、全行程バス利用）
- 第1日：新千歳空港（13時出発）—市内見学（北海道大学植物園、中島豊平館、時計台、旧道庁）—夕食（札幌支部会員と懇親会）—藻岩山（夜景鑑賞）—ホテル（京王プラザホテル札幌）
- 第2日：ホテル—小樽（小樽運河、ガラス工房、市内見学）—昼食—余市（ニッカウキスキー余市蒸留所）—洞爺湖—ホテル（ザ・ウィンザーホテル洞爺）
- 第3日：洞爺湖—支笏湖—昼食—新千歳空港（16時頃解散）
- 参加費：約7万円（札幌・洞爺湖宿泊費、朝食・昼食各2回、夕食1回、バス代金、入園料込）
- 申込締切：2017年5月25日
- 申込先：JAUW 事務所へ、ファックスで03-3358-2889
会報に同封したチラシ、HP をご参照下さい。
日程の詳細・参加費振込先については、申込みされた方へ郵送いたします。

コンサートのお知らせ 文化事業委員会

*初夏の夕べのコンサート

日時：6月21日（水）17：30（開場）18：00（開演）
会場：けやきホール（古賀政男音楽博物館）
代々木上原駅徒歩5分

演奏者：太田茂（ファゴット） 太田嘉子（フルート）
興口理恵（ピアノ）

チケット：一般 3500円 学生 2000円

☆3つの楽器による優雅な演奏をお楽しみ下さい。

太田夫妻は、17年前にウィーンから帰国間もない頃東京支部でランチコンサートを開き大好評でした。

☆チケット販売 4月1日より JAUW 事務所にて

お問い合わせは事務所03-3358-2882または HP 参照

新規事業委員会より 委員長 松本由美子

*多くの申し込みを期待しております!!

新規事業のひとつとして、人材バンクを創設します。趣旨等は会報に同封した人材バンク申込書をご確認ください。

新入会員 理事会承認 2016年11月～2017年2月

東京支部 小田レイ子 西村篤子 福田悦子

祝：40年以上在籍の会員

金沢支部 対馬ユキ子

理事会から

- ▶ 本年度のセミナーは10月26日（木）、27日（金）武蔵嵐山ヌエックで行われます。テーマは「女性の自立とリーダーシップ」（仮）です。
- ▶ 2016年度・2017年度の役員選考委員に、岩村道子、細田照子、松比良節子、中山律子、西田節子、鷺崎春春、鈴木佳子の7名の方を委嘱することが理事会で承認されました。
- ▶ 70周年募金委員会の設置が決まり、下記の5名が委員として委嘱されました。牧島悠美子（委員長）、田辺光子（財務）、中村礼子（会計）、中山正子（支部）、市川知恵子（総務）
- ▶ 国際会議参加若者支援制度による第61回 CSW フォラムへの支援生に田中悠里子さんが選ばれました。

一般社団法人 大学女性協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101

電話 03-3358-2882

FAX 03-3358-2889

http://www.jauw.org

E-mail:jauw@jauw.org

発行人 鷺見 八重子

編集責任者 穂田 信子

発行日 2017年3月6日